



## Press Release

2019年8月1日

報道関係各位

日本乾癬学会  
日本脊椎関節炎学会  
日本イーライリリー株式会社

### 日本乾癬学会、日本脊椎関節炎学会、日本イーライリリーが 共同で皮膚科医のための乾癬性関節炎の ハンズオン教育プログラム「OnPALETTE™」を作成 第34回日本乾癬学会学術大会で第1回 OnPALETTE™セミナーを実施予定(8月31日)

日本乾癬学会(事務局:栃木県下野市、理事長:大槻マミ太郎)と日本脊椎関節炎学会(事務局:大阪府吹田市、理事長:小林 茂人)、日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:パトリック・ジョンソン、以下「日本イーライリリー」)は、乾癬性関節炎(PsA)における、疾患の早期発見と、皮膚科医とリウマチ科医および整形外科医の治療連携促進を目的とした、皮膚科医向けのハンズオン教育プログラム「OnPALETTE™(オンパレット)」を共同で作成したことを発表します。

乾癬性関節炎(PsA)は慢性進行型の炎症性関節炎で、関節周辺に腫れ、こわばり、疼痛を引き起こし、身体機能に障害を及ぼします<sup>1</sup>。免疫系の過剰反応によって異常なシグナルが送られた場合に発生し、このシグナルによって炎症が引き起こされ、関節及び腱に腫れや疼痛が認められるようになります<sup>1</sup>。PsAは、腕及び下肢の末梢関節(肘、手首、両手及び両足)等に発生しますが、PsAを治療しないまま放置すると、関節症状が不可逆的となり後遺症を残す関節障害に至る可能性があります<sup>1</sup>。

日本国内で、乾癬患者のうちPsAと診断された割合は、14.3%と報告されていますが<sup>2</sup>、PsA患者のうち、皮膚症状が先行しその後関節症状が発現するケースが約8割です<sup>3</sup>。関節症状と皮膚症状の同時発症を含めると9割以上のPsA患者が診断時に皮膚症状を抱えています<sup>3</sup>。

しかし、皮膚科医が関節症状の評価方法を学ぶ機会は限定的であることから、日常診療で早期に関節症状を発見し、リウマチ科医および整形外科医との連携をもとに適切なタイミングで診断・治療を進めることには課題が残されていると考えられます。

そこで、日本乾癬学会、日本脊椎関節炎学会、日本イーライリリーは三者で協力し、乾癬患者の関節症状をより早期に発見し、リウマチ科医および整形外科医と連携して適切な診断・治療を進めることで患者のQOL(Quality of Life:生活の質)を高めることを目的とした、皮膚科医向けのハンズオン教育プログラム「OnPALETTE™」を作成しました。

「OnPALETTE™」は、日本乾癬学会と日本脊椎関節炎学会の医師が相互の専門知識を共有しながら作成することで、公平性や信頼性を高め、より実践に則したプログラムとなりました。このプログラムにより皮膚科医は、PsAについて座学で理解を深めるだけでなく、リウマチ科医や整形外科医からの直接の指導により、触診を中心とした関節評価法について実践を交えて学ぶことができます。

日本乾癬学会 理事長、自治医科大学 皮膚科 教授 大槻マミ太郎先生は次のように述べています。「PsA について実践にフォーカスして学ぶことができるプログラムの作成は画期的と考えています。今後、乾癬を診療している皮膚科医であれば年齢や経験の多少に関わらず、より多くの方々にハンズオン教育プログラム『OnPALETTE™』を受講していただき、より良い診療に貢献できればと思います。」

日本脊椎関節炎学会 理事長、順天堂大学越谷病院 内科 小林茂人先生は次のように述べています。「日本乾癬学会と、我々日本脊椎関節炎学会が手を携え、それぞれの専門的知見を持ち合い協働することで、皮膚科医にとって実践的なハンズオン教育プログラム『OnPALETTE™』を完成させることができました。より多くの PsA 患者さんの QOL 向上に貢献できると自負しています。」

日本イーライリリーの執行役員 チーフメディカルオフィサー 研究開発本部 バイオ医薬品領域本部長 ピエール イブ・ベルクラ氏は、次のように述べています。「日本イーライリリーでは、患者さんの健康状態の向上に貢献するための活動の一環として、各治療領域の専門家と協働し、専門的な視点を取り入れて医療従事者向け疾患教育プログラムを作成し、提供しています。今回、素晴らしい協働により『OnPALETTE™』を立ち上げられたことを喜ばしく思っています。これが医師の皆様の診療を通じて患者さんの健康状態の向上に役立てられれば幸いです。」

なお、本プログラムを受講できる第 1 回 OnPALETTE™セミナーを、第 34 回日本乾癬学会学術大会において、8 月 31 日(土) 15:30~17:30 京都ホテルオークラ内「C 会場 3F 翠雲(南)」で開催します。参加は事前登録制(先着順)で、申し込みに関する詳細は以下にてご確認ください。

日本乾癬学会プログラム一覧: <http://www.cs-oto.com/jspr34/program.html>

参加申し込みサイト: <https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/jspr34/>

以上

### **日本乾癬学会**

日本乾癬学会は乾癬の病因究明、治療法の開発および全国疫学調査を行い、乾癬に関する医療の向上を目指して結成された学術研究学会です。

第 34 回日本乾癬学会学術大会は、Beyond the Skin Surface をテーマに、2019 年 8 月 30 日(金)・31 日(土)に京都ホテルオークラで開催されます。詳細情報は、<http://www.cs-oto.com/jspr34/index.html> よりご確認ください。

### **日本脊椎関節炎学会**

日本脊椎関節炎学会は、強直性脊椎炎およびその類縁疾患の研究促進と社会的認識の普及に貢献することを目的とした学会です。1989 年に「日本 AS 研究会」として発足した後、1991 年に第 1 回学術集会を開催し、今年第 29 回を迎えます。詳細情報は <http://www.spondyloarthritis.jp/meeting/> よりご確認ください。

### **日本イーライリリーについて**

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛などの領域で日本の医療に貢献しています。<http://www.lilly.co.jp>

**【本件に関するお問い合わせ先】**

日本乾癬学会 事務局 神谷 浩二 (かみや こうじ)

Tel: 0285-58-7360 / Email: kansen-admin@umin.ac.jp

日本脊椎関節炎学会 事務局 富田 哲也 (とみた てつや)

Tel: 06-6210-8444 / Email: info@spondyloarthritis.jp

日本イーライリリー株式会社

コーポレート・アフェアーズ本部 草間 美織 (くさま みおり)

Tel. 03-5574-9743 / Email: kusama\_miori@lilly.com

〈このプレスリリースは、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ、本町記者会、道修町薬業記者クラブへ配付しております〉

---

1 Ritchlin C, et. al. Psoriatic Arthritis. New England Journal of Medicine. 2017;376:957-70.

2 Ohara Y, et al. J Rheumatol. 2015; 42: 1439-1442.

3 Yamamoto T et al.: J Dermatol. 43(10), 1193-1196(2016)